



青南だより

令和元年夏休み号

港区立青南幼稚園
園長 新山 裕之

<園庭の魅力を生かして>

青南幼稚園の園庭は起伏に富んでおり、植栽の多様さは他園にはない魅力的な環境に恵まれています。そのよさを生かし、遊びの充実を図るために、新しい可動遊具も使い始めています。また保育後の園庭開放は、子どもたちはもちろん保護者の皆さんにとっても、貴重なコミュニケーションの場となっています。ただし、安全に関しては注意が必要です。皆さんが安心して過ごせるよう、利用する皆さんのご理解とご協力をお願いします。詳しくは全体保護者会でお伝えします。

<教師としての力量を高める夏>

夏休み中、先生たちは新規採用教員としての研修、実技研修などそれぞれのキャリアに応じた指導力の向上に務めます。子どもたちに負けないように、少しでも成長して2学期を迎えたいと思います。また、9月にはたんぼぼ組が区教研、すみれ組が青山アカデミーの研究保育を行います。研究を通して幼児理解や指導の力量を高め、小中学校の先生方にも幼児教育について理解を深めてもらえるようにしていきます。保育時間の変更について、ご理解とご協力をお願いします。

<思春期につながる幼児教育>

9月7日(土)には、前・青山中学校校長の福井先生に幼児教育の大切さについてご講話いただきます。中学生の不登校は、登校しても教室に入れられない子を含めると全国で44万人もいるそうです。日本の高校生の自己肯定感の低さは他国に比べても極めて低いという調査もあります。3歳児がバラ門から一人で登園し自分で身支度を済ませること、5歳児がまつりの遊びコーナーを友達と一緒に作り上げることなどの幼稚園での経験と思春期の関係についてお話しいただきます。ご期待ください。

青南の 二十四節気

・・・葉月(はづき)・・・

立秋(8日)・・・セミが鳴き、暑さはまだまだ続きます・・・

処暑(23日)・・・暑さも少し収まり、もうすぐ2学期・・・

今年のジャガイモは大中小合わせて314個も収穫できました。カレー会食を前に年長児は包丁で切る経験もしました。ズッキーニやナスも、カレーに入れました。年少や年中児の育ててきたミニトマトもたくさん採れて、一つずつ食べられました。野菜が苦手という子が、自分たちで育てた野菜だと食べられた、という姿が今年もありました。手間ひま掛けて育てて作った料理の味は、一生の記憶として舌が覚えていることでしょう。



魅力ある園庭を使って工夫して遊びます



七夕子ども会は3歳も一緒に楽しみました



体を動かす遊びのヒントをたくさんもらいました



収穫したジャガイモを並べて数えてみると・・・



年長さんが作ってくれたカレーおいしいね